

MENU**SEARCH****INDEX****DETAIL****JAPANESE**

1 / 1

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-145470

(43)Date of publication of application : 29.05.1998

(51)Int.CI.

H04M 1/02

H04M 1/00

H04M 1/21

(21)Application number : 08-332627

(71)Applicant : SHIBATA IWAO

(22)Date of filing : 11.11.1996

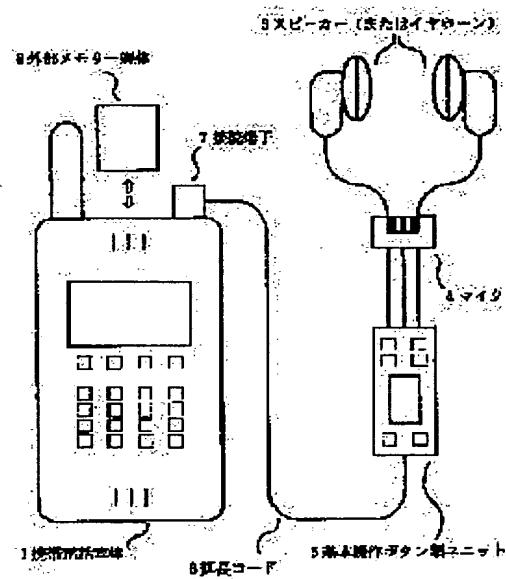
(72)Inventor : SHIBATA IWAO

(54) PORTABLE TELEPHONE SET WITH AUDIO FUNCTION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide the portable telephone set with multi-functions by adding an audio function to the portable telephone set.

SOLUTION: The portable telephone set main body 1 is provided with a function to receive a radio/TV radio wave or the like and to connect to and to activate an external memory medium 2, and remote operation and control is attained by connecting a connection terminal 7 of an extension cord 6 to which a speaker (or earphone) 3, a microphone 4 and a basic operation button unit 5 are fitted. Since the microphone 4 is moved on the extension cord 6 slidably, the microphone 4 is in use with free of a hand by approaching the microphone to the mouth only as required.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-145470

(43)公開日 平成10年(1998)5月29日

(51)Int.Cl.⁶

H 04 M 1/02
1/00

識別記号

1/21

F I

H 04 M 1/02
1/00

1/21

C
Q
N
L

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全4頁)

(21)出願番号

特願平8-332627

(22)出願日

平成8年(1996)11月11日

(71)出願人 596171225

柴田 巍

神奈川県横浜市青葉区市が尾町359-108

(72)発明者 柴田 巍

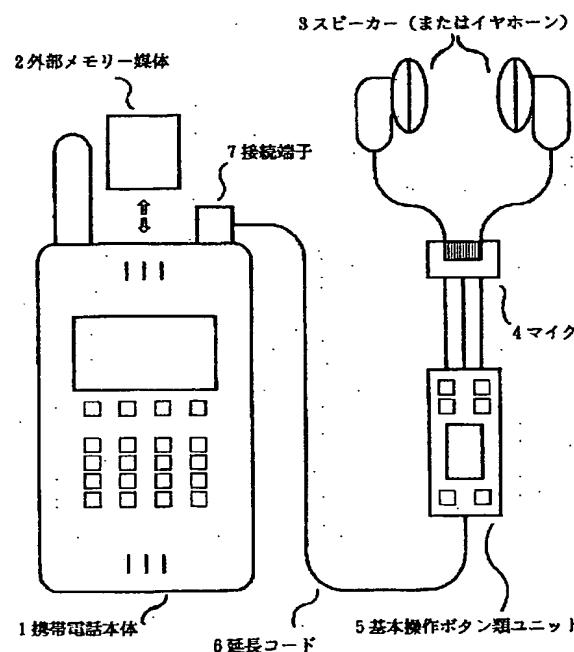
神奈川県横浜市青葉区市が尾町359-108

(54)【発明の名称】 オーディオ機能付携帯電話

(57)【要約】

【課題】 携帯電話においてオーディオ機能を付加した多機能な携帯電話を提供する。

【解決手段】 携帯電話本体(1)にラジオ、TV電波等を受信作動及び外部メモリー媒体(2)を接続作動させる機能を付加し、スピーカー(またはイヤホーン)(3)、マイク(4)及び基本操作ボタン類ユニット(5)を取り付けてある延長コード(6)の接続端子(7)を携帯電話本体(1)に接続することにより離して作動及び操作が出来る。マイク(4)は延長コード(6)上をスライド移動出来るため必要な時にのみ口元に近づけて手放しで使うことが出来ることを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話本体(1)にラジオ及びTV電波等を受信作動並びに外部メモリー媒体(2)を接続作動出来る様にすることにより、オーディオ機能(ラジオ聴衆、TV聴衆、朗読や声楽及び音楽鑑賞、外部音または受信音の録音及びその後の再生等)を携帯電話本体(1)で作動出来ることを特徴とする携帯電話。

【請求項2】 スピーカー(またはイヤホーン)

(3)、マイク(4)及び基本操作ボタン類ユニット(5)を携帯電話本体(1)と延長コード(6)で接続することにより携帯電話本体(1)から離して作動及び操作が出来ることを特徴とする携帯電話。

【請求項3】 携帯電話本体(1)から延長コード(6)によって作動及び操作出来るスピーカー(またはイヤホーン)(3)、マイク(4)及び基本操作ボタン類ユニット(5)の内、マイク(4)は延長コード上をスライド移動出来ることを特徴とする携帯電話。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話においてラジオ、TV電波等を受信作動並びに外部メモリータ体を接続作動出来る様にし、且つ延長コードを使用してスピーカー、マイク及び基本操作ボタン類ユニットを携帯電話本体より離して使用出来、さらにそのマイクが延長コード上をスライド移動出来ることにした携帯電話に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の携帯電話は電話通話だけの使用目的に利用し、且つ操作部は携帯電話本体にしかなかった。また、スピーカー及びマイクは延長コードによって携帯電話本体より離して使用出来る様になっているが、マイクは延長コード上もしくはスピーカー部に固定されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これには次のような欠点があった。

(イ) 電話通話だけの利用であるため、オーディオ類を電車車内等で聞くためには新たに別の携帯用装置を必要としていた。

(ロ) 操作部が本体にしかないため、電話通話時にはカバン等にしまい込んだ携帯電話をわざわざ取り出さなければならなかつた。

(ハ) 延長コード上に取り付けられているスピーカー(またはイヤホーン)とマイクはコード上に固定されているため、スピーカー(またはイヤホーン)だけの使用時にはマイクが邪魔になっていた。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】携帯電話本体(1)の内

部にラジオ、TV電波等を受信作動させる機構及び上、下または側面部に外部メモリー媒体(2)を接続する部分と携帯電話本体(1)内部にそれを作動させる機構を設け、延長コード(6)上に取り付けたスピーカー(またはイヤホーン)(3)、マイク(4)及び基本操作ボタン類ユニット(5)をその接続端子(7)を使って携帯電話本体(1)の上、下または側面部に接続する。延長コード(6)上のマイク(4)はスピーカー(またはイヤホーン)コードライン上をスライド移動出来る様にそのコードラインがマイク(4)内を貫通している。本発明は、以上のような構成よりなる携帯電話である。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。

(イ) 携帯電話本体(1)内部にラジオ、TV電波等を受信作動させる機能並びに上部に外部メモリー媒体(2)を接続する部分と携帯電話本体(1)内部にそれを作動させる機構を設ける。

(ロ) スピーカー(またはイヤホーン)(3)とマイク(4)及び基本操作ボタン類ユニット(5)を延長コード(6)でつなぎ、その接続端子(7)を携帯電話本体(1)の上部に接続する。尚、この延長コード(6)につながれたスピーカー(またはイヤホーン)(3)とマイク(4)及び基本操作ボタン類ユニット(5)は携帯電話本体(1)に収納することも考えられ、その際にもは携帯電話本体(1)付属スピーカー及びマイクと共有化を図ることも可能である。

(ハ) 延長コード(6)上のマイク(4)はスピーカー(またはイヤホーン)コードラインを貫通させてある。あるいは、マイク(4)に付属するフック類にひっかけることも考えられる。尚、マイク(4)に作動状況を外部に表示するライトやTV視聴及びTV電話通話に対応するため小型ディスプレー及び小型受像器を付属することも考えられる。本発明は以上の構成よりなっている。

【0006】本発明を使用するときは、携帯電話本体(1)の電源を入れ、通常使用状況のように携帯電話本体(1)付属スピーカー、マイク、操作ボタン類を使用して電話を掛けられるが、スピーカー(またはイヤホーン)(3)、マイク(4)及び基本操作ボタン類ユニット(5)が取り付けてある延長コード(6)をその接続端子(7)によって携帯電話本体(1)と接続し、電話を掛けることも出来る。電話受信についても同様である。

【0007】尚、その際の通話時においてマイク(4)を口元に近づける必要があるのでマイク(4)を指で持って引き上げれば延長コードの支えによって手を離してもマイク(4)は口元に位置したまま話すことが出来る。スピーカー(またはイヤホーン)(3)がひとつの場合もふたつの場合も状況は同じであるが、特にふたつ

の場合には左右のコードに支持されたマイク(4)は丁度口元に位置するためより便利になる。電話通話終了後マイク(4)が不要になった場合にはまた指で邪魔にならないところまで引き下げてやればよい。更に加えて、マイク(4)のコードライン上にストッパーを設けるとコードの弛みを目立たない様にも出来る。

【0008】オーディオ機能を使用する場合においても、電話通話時と同様に携帯電話本体(1)付属スピーカー、マイク、操作ボタン類でも、あるいは延長コード(6)に取り付けてあるスピーカー(またはイヤホーン)(3)、マイク(4)及び基本操作ボタン類ユニット(5)でも使用可能となっている。特に、外部メモリー媒体(2)を携帯電話本体(1)に接続すれば、そのメモリーに保存されている内容をスピーカー(またはイヤホーン)(3)を通じて聞くことが出来、逆に外部メモリー媒体(2)にマイク(4)を通じて音を録音することも出来る。尚、通話を着信時においてオーディオ機能と電話機能のどちらを優先させるか、また、着信音を外部に発するか、スピーカー(またはイヤホーン)(3)に発するか選択出来る様にするとより便利になる。

【0009】

【発明の効果】本発明を使用することによって、通話目的のために使用することはもちろん電話未使用時にもラジオ、TV等の聴衆、音楽鑑賞、語学学習、会議会話の

録音等携帯電話の使用用途が拡がるため、携帯用電子機器の所有台数を減らせ、且つオーディオ機能使用時に通話着信が来た場合には直ちに通話モードに切り換えることが可能であり素早い対応が出来る様になる。また、災害遭難時の連絡媒体と情報収拾媒体を兼ね備えるため災害必需品としての位置付けも高くなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のオーディオ機能付携帯電話の一実施例を示す正面図である。

【図2】本携帯電話の平面図である。

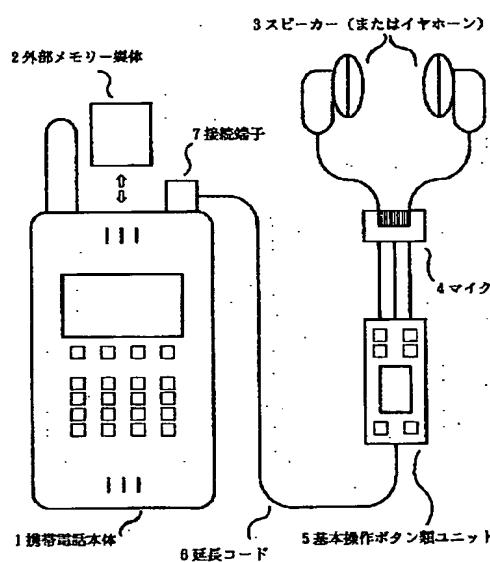
【図3】延長コードに取り付けてあるスピーカー(またはイヤホーン)とマイク部分の通話時状態での正面図である。

【図4】延長コードに取り付けてあるスピーカー(またはイヤホーン)とマイク部分の音楽鑑賞時状態での正面図である。

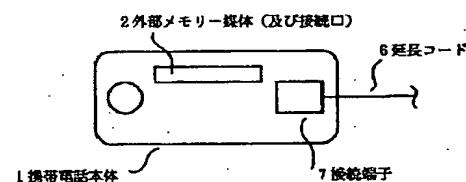
【符号の説明】

- 1 携帯電話本体
- 2 外部メモリー媒体
- 3 スピーカー(またはイヤホーン)
- 4 マイク
- 5 基本操作ボタン類ユニット
- 6 延長コード
- 7 接続端子

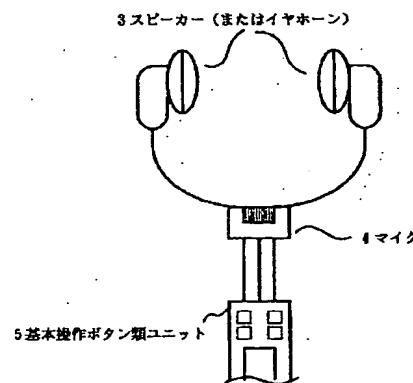
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

